

第12回遠州広域行政推進会議 次第

日 時：平成28年12月20日（火）

午後3時から午後4時半まで

場 所：袋井市総合センター 4階大会議室

1 開 会

2 座長あいさつ

3 開催市長あいさつ

4 議題

地域資源を活かした広域観光の推進について

（1）講演及び意見交換

テーマ：遠州地域の歴史遺産と観光への活用

講 師：小和田 哲男 氏（静岡大学名誉教授）

（2）中間報告及び意見交換

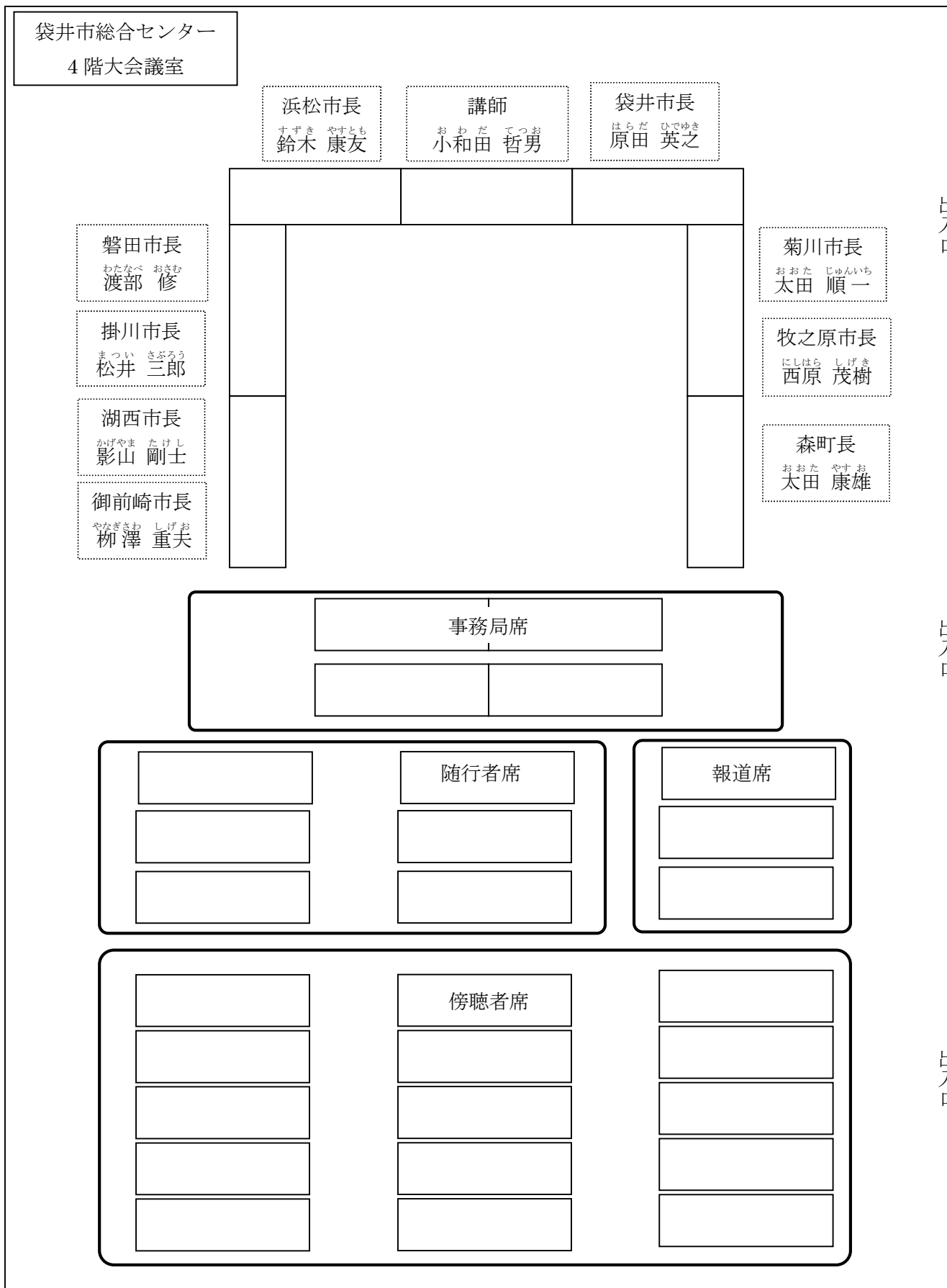
5 その他

6 閉 会

第12回遠州広域行政推進会議（12/20）出席者

市 町	出席者	
浜松市	市長	鈴木 康友
磐田市	市長	渡部 修
掛川市	市長	松井 三郎
袋井市	市長	原田 英之
湖西市	市長	影山 剛士
御前崎市	市長	柳澤 重夫
菊川市	市長	太田 順一
牧之原市	市長	西原 茂樹
森町	町長	太田 康雄

第 12 回遠州広域行政推進会議 座席表



第 12 回

遠州広域行政推進会議

会議資料

開催日：平成 28 年 12 月 20 日 (火)

開催地：袋井市

会議資料

・資料1	講演について	1
・資料2	講演資料	3
・資料3	地域資源を活かした広域観光の推進について（中間報告案及び意見交換）	5

講演について

1 講演テーマ

「遠州地域の歴史遺産と観光への活用」

2 講師

小和田 哲男（おわだ てつお）
（静岡大学名誉教授）



【経歴】

専門は日本中世史、特に戦国時代史で、主著『後北条氏研究』『近江浅井氏の研究』のほか、『小和田哲男著作集』などの研究書の刊行で、戦国時代史研究の第一人者として知られている。また、NHK総合テレビおよびNHK E テレの番組などにも出演し、わかりやすい解説には定評がある。NHK大河ドラマでは、1996年の「秀吉」、2006年の「功名が辻」、2009年の「天地人」、2011年の「江～姫たちの戦国～」、2014年の「軍師官兵衛」で時代考証をつとめ、2017年の「おんな城主 直虎」も担当する。

【主な著書】

『戦国の群像』（学研新書 2009年）、『歴史ドラマと時代考証』（中経の文庫 2010年）、『戦国の城』（学研M文庫 2013年）、『名軍師ありて、名将あり』（NHK出版 2013年）、『黒田官兵衛 智謀の戦国軍師』（平凡社新書 2013年）、『戦国史を歩んだ道』（ミネルヴァ書房 2014年）、『戦国武将』（中公文庫 2015年）、『名城と合戦の日本史』（新潮文庫 2015年）、『戦国武将の実力』（中公新書 2015年）、『東海の戦国史』（ミネルヴァ書房 2016年）、『井伊直虎 戦国井伊一族と東国動乱史』（洋泉社歴史新書 2016年）など

3 構成

- (1) 講演（40分程度）
- (2) 首長との意見交換（20分程度）

遠州地域の歴史遺産と観光への活用

静岡大学名誉教授・文学博士
小和田 哲男

1. 大河ドラマ「おんな城主 直虎」の舞台となる遠州全域

井伊谷とその周辺

引馬城（浜松城）

新野左馬助の出身地新野

2. お城ブームと遠州の城

今川時代の城 頭陀寺城・掛川古城

武田・徳川の攻防の城 高天神城・諏訪原城

近世の城 浜松城・掛川城

3. 遠州の寺と神社

遠州三山 可睡斎・尊永寺・油山寺

湖北五山 龍潭寺・方広寺・宝林寺・大福寺・摩訶耶寺

遠州一の宮 小国神社

4. 注目される遠州の民俗芸能

ひよんどり

田楽

おくない

地域資源を活かした広域観光の推進について（中間報告案及び意見交換）

1 経緯と目的

観光振興は、広域で取り組むことによりポテンシャルの拡大などが期待される。

平成29年大河ドラマ「おんな城主 直虎」の静岡県内における経済波及効果は179億円とされており（平成28年4月14日 日本銀行静岡支店発表）、全国から注目される井伊直虎を足掛かりとして、遠州地域の魅力や地域資源を活用した広域観光の推進が期待されるため、遠州広域に共通するテーマとして事業実施を検討する。

2 体制

静岡県西部地区観光協議会（以下、西観協）では、平成28年度の主要推進テーマとして歴史資源を活用した周遊宣伝を進める旨を決定しており、いわゆる武将観光の充実を目指していることから、これら既存の枠組みの充実と、中部広域観光推進協議会や武将観光先進地等との連携による情報収集を進める。

広域連携組織としては、「静岡県西部地区観光協議会」及び「おんな城主 直虎」推進協議会（湖西市、浜松市、御前崎市、静岡県、愛知県新城市、長野県飯田市・高森町及び観光・商工団体、民間企業により構成）の体制活用を検討する。

3 検討内容

- ・歴史資源・ストーリーを活用したモデルコースの作成
→「おんな城主 直虎」推進協議会が作成する広域マップにおいて、一泊二日のモデルコースを作成。
- ・交流人口の増加手法
→シンポジウムの開催等、域内の交流拡大を手始めに、静岡県と連携し、首都圏・関西圏においてPR活動を実施。
- ・県外や海外への情報発信
→大型観光キャンペーンへの共同出展等により、情報発信を強化。

4 これまでの取組

11月19～20日 「ワールドサムライサミット（愛知県主催）」への出展

12月11日 「信長攻路 名古屋城戦国フェス（名古屋市等主催）」への出展

【上記イベントにおける出展内容】

- ・直虎 PR ステージ等の実施（出世大家康くん、出世法師直虎ちゃん）
- ・PRパンフレット「遠州路戦国歴史巡りの旅」の配布
- ・子ども甲冑試着体験の実施

※このほか、10月30日に「袋井宿400年祭（袋井市主催）」、11月20日に「森町産業祭（森町主催）」、11月27日に「御前崎産業まつり（御前崎市主催）」

へ浜松市として出展し、その際に静岡県西部地区観光協議会とも連携してPRを行った。

5 これからの取組

12月23～25日に横浜（パシフィコ横浜）で開催される全国最大規模の「お城EXPO（お城EXPO実行委員会等主催）」では、女城主つながりの岐阜県恵那市（岩村町）と連携して浜松市が出展するが、こうしたイベントへの出展や敵陣視察、ベンチマーク等を重ねることで、先進地の長所を吸収しつつ当地域独自の取組みを検討する。

また、平成29年大河ドラマ「おんな城主 直虎」を通じた関連自治体による直虎サミットの開催や、昨年、ゆるキャラグランプリで日本一となった本市の武将キャラクター「出世大名康くん」と直虎ゆかりの地PRキャラクターの「出世法師直虎ちゃん」の呼び掛けによる武将キャラクターイベントの開催、関ヶ原（岐阜県）等の先進地の戦国イベントへの出展等を通じて、先進的な地位とブランド化の確立を目指す。

これらの取組みをメディアや旅行雑誌等を通じて広く発信していくことで、誘客の増加や延泊者の増加、大河ドラマ終了後の持続的な加速につなげていく。

6 広域連携事業

- ・直虎サミットの実施
- ・直虎広域マップの作成
- ・奥浜名湖観光協会と新城市観光協会による「直虎・虎松タイガープロジェクト」（講演会、スタンプラリー等の実施）
- ・戦国BASARAアプリによる広域スタンプラリーの実施



ワールドサムライサミット出展ブース



ワールドサムライサミットPRステージ